

## 卓話



### 沼津中央高等学校 インターアクトクラブ 活動報告

顧問：前田拓夫先生・平野 謙先生  
生徒：部長 松本美樹さん・羽切梨恵さん  
後藤日花里さん・笹原しおりさん

沼津中央高校のインターアクトクラブは、1979年2月に沼津北RCの提唱によって設立されました。2620地区の中では5番目にはやい設立で、以来、30年にわたって沼津北RCの皆様には多大なご支援をいただいております。ありがとうございます。

インターアクトの活動がきっかけとなり、96年には現在の医療・福祉コースが設置されるなど、インターアクトの活動は沼津中央高校の福祉教育の中心にもなっています。

本校IACは、国際交流とボランティアを柱として、約30名の部員で活動しています。

国際交流では、沼津北RCと公州RCとの交流をきっかけとして、韓国・公州錦城女子高校との交流を1991年から続けています。この交流の実現・発展にご尽力いただいた、ロータリアンの皆様には心から感謝しております。今年度は、本校の生徒が韓国を訪問する予定でしたが、残念なことに国際的なインフルエンザの流行もあり、来年度に延期することとなりました。

2010年には、8月2日から5泊6日の予定で韓国を訪問します。

また、ボランティア活動では、さまざまな施設で数多くのボランティアを行っていますが、その中で今回は「のびっこの会」について、報告させていただきます。

「のびっこの会」の活動は2002年に、県東部の高機能自閉症・アスペルガー症候群の子どもたちに対する療育活動の一環としてスタートしました。自閉症協会・静岡県支部の会員家族11家族とインターアクトの高校生が参加し、21年度はゲームやリトミック活動、ピュバティスクール(思春期講座)などを行っています。(土曜日の午後・年間11回)

「のびっこ」の子どもたちにとっては社会性を身につける取り組みとして、高校生にとっては発達障害の子どもたちへの理解を深めるきっかけとして、非常に有意義なものとなっています。またこの活動を通じて、保育や医療など高校生が進路選択をする上でのきっかけともなっています。

最後に、今年度は本校がインターアクト指導者講習会のホスト校となっています。12月13日(日)にサンウェルぬまづ・本校を会場に開催されます。詳細につきましては改めてご相談させていただきますが、今後とも皆様のご指導・ご協力をお願いいたします。

